



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月12日

上場会社名 株式会社 アルプス技研 上場取引所 東
 コード番号 4641 URL https://www.alpsgiken.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 篤
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 河野 晶 TEL 042 (774) 3333
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	8,978	9.9	1,052	18.0	1,055	16.1	613	△10.2
2019年12月期第1四半期	8,171	7.8	891	4.5	909	4.4	683	18.6

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 542百万円 (△18.8%) 2019年12月期第1四半期 667百万円 (25.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	29.77	—
2019年12月期第1四半期	32.69	—

(注) 当社は2019年7月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行っております。「1株当たり四半期純利益」については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産額	純資産額	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	18,384	10,846	58.9
2019年12月期	19,471	12,165	62.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 10,822百万円 2019年12月期 12,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	35.00	—	38.00	—
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2019年7月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、2019年12月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	18,120	9.2	1,780	8.3	1,790	5.8	1,210	0.3	57.81
通期	38,320	5.4	4,270	6.4	4,270	4.2	2,910	0.1	139.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	24,746,675株	2019年12月期	24,746,675株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	4,300,226株	2019年12月期	3,797,910株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	20,617,349株	2019年12月期 1 Q	20,914,103株

(注) 当社は2019年7月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想の前提となる条件等については、添付資料2頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により前記予想と異なる場合があります。

(参考) 個別業績予想

2020年12月期の個別業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	15,300	6.9	1,800	7.2	1,250	1.2	59.72
通期	31,630	6.6	3,920	4.4	2,730	0.6	130.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8
3. (参考)	9
(1) 2020年12月期第1四半期の(要約)個別四半期損益計算書	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年3月31日)におけるわが国経済は、前半、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移しましたが、足元では新型コロナウイルス感染症の影響が出始め、景気変動の兆しが現れました。

当社グループの主要顧客である大手製造業各社において、半導体分野については5G関連の需要拡大に伴い市況が回復傾向となり、自動車関連分野も引き続き次世代車向けの研究開発投資が活発だったことから、総じて堅調に推移いたしました。

このような環境の下、当社は「チームアルプス」というビジョンを掲げ、より結束力の高い技術者集団となることを目指しています。また、当社グループの中核である技術者派遣事業では、採用施策の強化、優秀な技術者の確保に努めました。さらに全社を挙げて、高稼働率の維持及び契約単価の向上、チーム派遣や、外国人社員の活躍推進等の営業施策に取組みました。以上のような施策の結果、稼働率は高水準を維持し、稼働人数、契約単価ともに上昇いたしました。これらの技術者派遣事業における諸要因を主因として、当第1四半期連結累計期間の売上高は89億78百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益は10億52百万円(同18.0%増)、経常利益は10億55百万円(同16.1%増)となりました。また、新型コロナウイルス感染拡大による株価下落に伴う投資有価証券評価損の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億13百万円(同10.2%減)となりました。

なお、当社は第2創業期にあたり、次世代に向けた強みを創出すべく、新規事業や、知名度向上に向けた施策を推進しております。特に、農業関連分野での外国人材活躍推進においては、子会社「株式会社アグリ&ケア」を中心に、国家戦略特区や、人材派遣会社で全国初の取得となった新在留資格「特定技能1号」を活用し、様々なアグリテック(農業とテクノロジーの融合)、就農人材の活躍を進めております。当社グループは、創業以来培ってきた高度な技術力と人材育成のノウハウを活かし、幅広い価値を提供いたします。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① アウトソーシングサービス事業

主要事業であるアウトソーシングサービス事業では、技術者派遣を中心に、技術プロジェクトの受託、事務派遣、職業紹介等も行っております。

アウトソーシングサービス事業におきましては、優秀な人材の確保、契約単価の改善を柱とした、採用及び営業施策に注力した結果、稼働人数は増加し、引き続き契約単価も上昇いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は87億32百万円(同8.6%増)、営業利益は10億25百万円(同16.6%増)となりました。

② グローバル事業

グローバル事業では、海外におけるプラント設備、機械・設備機器等の据付及びメンテナンス並びに人材サービスを行っております。

グローバル事業におきましては、人材サービスが堅調に推移し、台湾において工事案件が検収されたことから、当第1四半期連結累計期間における売上高は2億46百万円(同88.7%増)、営業利益は25百万円(同142.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は183億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億86百万円減少いたしました。これは、主に自己株式の取得に伴う現金及び預金の減少によるものであります。負債合計は75億38百万円となり前連結会計年度末に比べ2億33百万円増加いたしました。これは、主に賞与引当金の増加によるものであります。この結果、純資産の部は108億46百万円となり前連結会計年度末に比べ13億19百万円減少いたしました。

これらの結果、自己資本比率は58.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、当社グループに対する足元の派遣要請が引き続き堅調のため、2020年2月6日に公表いたしました連結・個別業績予想に変更はございません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループの業績も影響を受ける可能性があります。現時点では業績予想の修正が必要な状況ではありませんが、今後、修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,442,059	6,392,678
受取手形及び売掛金	5,382,018	5,163,313
仕掛品	155,568	144,579
原材料及び貯蔵品	961	961
その他	426,694	436,388
貸倒引当金	△2,115	△2,156
流動資産合計	13,405,188	12,135,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,013,586	3,014,511
減価償却累計額	△1,286,261	△1,310,525
建物及び構築物(純額)	1,727,325	1,703,986
土地	1,449,757	1,449,757
建設仮勘定	—	679
その他	397,364	403,666
減価償却累計額	△317,000	△321,806
その他(純額)	80,364	81,860
有形固定資産合計	3,257,447	3,236,283
無形固定資産		
のれん	277,321	262,725
その他	160,120	153,132
無形固定資産合計	437,442	415,858
投資その他の資産		
投資有価証券	1,020,504	837,694
繰延税金資産	643,338	1,066,997
その他	928,485	914,083
減価償却累計額	△220,968	△221,889
その他(純額)	707,517	692,193
投資その他の資産合計	2,371,360	2,596,886
固定資産合計	6,066,250	6,249,028
資産合計	19,471,438	18,384,793

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	112,052	102,191
短期借入金	700,000	700,000
未払金	1,559,567	1,104,705
未払法人税等	864,974	785,585
賞与引当金	1,333,112	2,479,413
役員賞与引当金	32,085	6,995
その他	2,386,442	2,052,303
流動負債合計	6,988,234	7,231,195
固定負債		
退職給付に係る負債	206,035	200,006
その他	111,430	107,540
固定負債合計	317,466	307,547
負債合計	7,305,700	7,538,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,347,163	2,347,163
資本剰余金	3,060,564	3,060,564
利益剰余金	10,425,509	10,243,188
自己株式	△3,963,015	△5,029,228
株主資本合計	11,870,221	10,621,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257,173	196,250
為替換算調整勘定	15,021	4,323
その他の包括利益累計額合計	272,195	200,574
非支配株主持分	23,321	23,788
純資産合計	12,165,737	10,846,050
負債純資産合計	19,471,438	18,384,793

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	8,171,584	8,978,965
売上原価	6,040,477	6,688,810
売上総利益	2,131,106	2,290,154
販売費及び一般管理費	1,239,729	1,237,898
営業利益	891,377	1,052,256
営業外収益		
受取利息	770	262
受取配当金	100	100
助成金収入	11,147	3,966
受取賃貸料	8,926	1,536
為替差益	306	—
その他	11,444	13,825
営業外収益合計	32,695	19,690
営業外費用		
支払利息	825	462
為替差損	—	4,453
その他	13,476	11,209
営業外費用合計	14,301	16,125
経常利益	909,771	1,055,820
特別利益		
固定資産売却益	25	183
寄附金収入	100,000	—
特別利益合計	100,025	183
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	95,549
特別損失合計	0	95,549
税金等調整前四半期純利益	1,009,797	960,454
法人税、住民税及び事業税	685,400	745,187
法人税等調整額	△359,323	△399,060
法人税等合計	326,076	346,126
四半期純利益	683,720	614,328
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	596
親会社株主に帰属する四半期純利益	683,668	613,732

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	683,720	614,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,883	△60,922
為替換算調整勘定	4,115	△10,827
その他の包括利益合計	△15,768	△71,749
四半期包括利益	667,952	542,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	667,954	542,111
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	467

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年2月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式500,000株の取得を行いました。また、単元未満株式の買取請求による取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,066百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が5,029百万円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アウトソーシング サービス事業	グローバル事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,040,892	130,691	8,171,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	69,147	69,147
計	8,040,892	199,838	8,240,731
セグメント利益	879,896	10,743	890,640

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	890,640
セグメント間取引消去	737
四半期連結損益計算書の営業利益	891,377

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アウトソーシング サービス事業	グローバル事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,732,415	246,550	8,978,965
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	66,929	66,929
計	8,732,415	313,480	9,045,895
セグメント利益	1,025,628	25,998	1,051,627

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,051,627
セグメント間取引消去	629
四半期連結損益計算書の営業利益	1,052,256

3. (参考)

(1) 2020年12月期第1四半期の(要約)個別四半期損益計算書

科 目	前第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
	金額(千円)	金額(千円)
I 売上高	7,052,697	7,678,703
II 売上原価	5,201,439	5,679,036
売上総利益	1,851,258	1,999,667
III 販売費及び一般管理費	1,071,566	1,056,122
営業利益	779,691	943,544
IV 営業外収益	167,963	149,965
V 営業外費用	14,813	16,085
経常利益	932,841	1,077,425
VI 特別利益	100,025	183
VII 特別損失	0	95,549
税引前四半期純利益	1,032,867	982,059
法人税、住民税及び事業税	613,414	679,311
法人税等調整額	△328,126	△371,851
四半期純利益	747,579	674,598

- (注) 1. 四半期損益計算書は、法定開示におけるレビュー対象とはなりません。
 2. 四半期損益計算書は、「四半期財務諸表等規則」に従い作成し、要約した上で記載しております。